

所沢市立南小学校

環境目標：環境問題に興味関心を持ち、環境活動に取り組む南っこの育成

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

すっからかん賞（給食を残さず食べ切る。）

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

生ごみの削減により、ごみの焼却量を減らす。それに伴い、温室効果ガスや二酸化炭素、有害なガスの発生を減らしていく。

＜主な教育効果：環境のために行動する力＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

「水道・電気点検」は、委員会に所属している子どもの環境への意識を高めることができた。点検ボードを作成し意識をもって活動に取り組むことができた。5年生では総合的な学習を通して、夏休みの宿題においてSDGs ポスターに取り組んだりしてきた。より意識を高めていけるよう取り組んでいく。

2 《みどり・生物多様性》

「除草活動」を通して、環境美化への意識を高めることができた。PTAとともに子どもたちが積極的に活動することができた。

本校では、栽培委員会でみどりのカーテンづくりも行っている。

落ち葉堆肥づくりを昨年度からスタートした。委員会や教職員への投げかけも増やし、生活科や理科の学習で栽培する植物にも生かしていきたい。このような活動を通して環境教育に触れる機会を作っていけるよう図っていく。

3 《資源循環》

「すっからかん賞」では、子どもたちが完食目指して意欲的に取り組む姿が見られた。本年度は、埼玉県の委嘱を受け、埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会に取り組み、学校全体でも食育への意識を高めた。児童も栄養教諭や養護教諭から話に耳を傾け、食の大切さに気付き、命を頂いているという意識を高め、完食を目指して積極的に取り組むことができた。



【栄養教諭による授業の様子】

今後は、SDGs の視点も含めて環境教育への意識を高めていく。理科や社会科、生活科などの教育活動全体を通して学ばせていきたい。